

赤十字 NOW

千葉 | 2018 Vol. 41

▶ 発行所 / 日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812

未来に羽ばたく子どもたち

「いのちを大切にする」「人の痛みが分かる」「思いやりの心を持つ」
そんな子どもたちを赤十字は育てます。



CONTENTS 2018 vol.41

23 特集

「生きる力」を育む青少年赤十字

4 News&Report

・モンゴル国赤十字ユースと国際交流
・成田赤十字病院「ふれあい広場2017」を開催

5 News&Report

・救急法フェスタ2017を開催
・災害救護用マルチルーム
・赤十字支援マークのご利用

6 Information

・献血女子会クッキング
・はたちの献血キャンペーン
・活動資金協力企業(団体)のご紹介

「生きる力」を育む 青

学校教育では、子どもたちが自ら課題を見つけ、考え、主体的に判断し、行動する力、いわゆる「生きる力」を育むことに力を入れています。

青少年赤十字(Junior Red Cross)は、90年以上の歴史の中で、子どもたちが実践活動を通して「気づき、考え、実行する」力を養ってきており、「生きる力」の育成にも通じるものがあります。

今、学校現場から注目が集まる青少年赤十字についてご紹介します。

What's JRC?

青少年赤十字(JRC)は、児童・生徒が赤十字の精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、望ましい人格と精神を自ら形成することを目的としています。

子どもたちが「**気づき、考え、実行する**」過程を重視し、実践活動を通して「やさしさ」や「思いやりの心」を育みます。

3つの実践目標

青少年赤十字では、次の3つの実践目標を掲げて様々な活動を行っています。

● 健康・安全 ～生命と健康を大切にする～

応急手当や心肺蘇生、災害に対する備えを学び合い、命や健康の大切さ、災害から命を守ることなどを学びます。

● 奉仕

～人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する～

地域での清掃活動や一円玉募金などのボランティア活動を通じて、子どもたちが社会の一員として責任を持ち、自分に何ができるか考え、実行する力を養います。

● 国際理解・親善

～広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う～

赤十字のネットワークを活かして、国や民族、宗教などが異なる人々との相互理解や交流の機会を子どもたちに提供しています。

4ページの「モンゴル国赤十字ユースと国際交流」をご覧ください。



心肺蘇生やAEDの使い方などを学びあう



地域で行うボランティア活動



高齢者の擬似体験を通して、思いやりの心を育む

また、各教科の授業などにも取り入れられる考え方や手法があり、学校運営や学級経営にすぐに活用できる点もポイントです。

これは、新たな学習指導要領が力を入れている子どもたちが社会の一員として未来を切り開くために必要な「生きる力」をもたらすものでもあると思います。

「赤十字の教材、人材が活用できて学習効果が上がった」といった声が寄せられています。

現場の先生方からも、「子どもたちが「主体的に行動できるようになった」「気づき、考え、実行できるようになった」「赤十字の教材、人材が活用できて学習効果が上がった」といった声が寄せられています。



鎌ヶ谷市立第三中学校
校長 鈴木 吉久氏

学校現場の声

少年赤十字



災害から自らの命を守る防災教育

青少年赤十字では、これまでも救急法や炊き出しなどの防災教育に力を入れてきました。

東日本大震災などの教訓から、将来起こる自然災害から子どもたちが自らの命を守るためには、災害の正しい知識を持ち、自ら考え、判断し、危険から身を守る行動が取れることが重要です。

このため、日本赤十字社では、子どもたちが災害時に取るべき行動を「気づき、考え、実行する」ことができる防災教育教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」を開発し、国内すべての小・中・高等学校に無償配布しました。

今後とも、この教材を活用した命を守る防災教育を学校現場に働きかけ推進してまいります。



ハイゼックスを使った炊き出しを学ぶ

授業ですぐに使える 防災教育教材

「まもるいのち ひろめるぼうさい」

自然災害に向き合ってきた赤十字と現場の教員が協力して作成した「授業ですぐに使える防災教育教材」です。

災害ごとの映像教材(DVD)やテキスト教材、資料などを豊富に収録しています。

宿泊形式の研修

リーダーシップ・トレーニングセンター

リーダーシップ・トレーニングセンターでは、学校生活から離れ、他校の子どもたちと宿泊をしながら、グループワークやホームルームでの話し合いを通して、リーダーシップやメンバーシップの取り方などを学びます。

また、生活の中で人道の実践に取り組むボランティア・サービス活動(VS活動)や、チームワークで課題に取り組むフィールドワークなどを経験し、「自ら気づき、考え、実行する」子どもを育てます。

千葉県支部では、夏休みを中心に、県内11の地域でリーダーシップ・トレーニング・センターを開催しています。



グループワークではお互いの意見を尊重

スタディー・センター

冬休みには、小学生・中学生・高校生のメンバーが一同に会して、全県下を対象とした宿泊型研修スタディー・センターも開催しています。

JRC採用校の輪を広げる

青少年赤十字は、学校単位や部活動単位で行われており、幼稚園及び保育園、小・中・高等学校、特別支援学校などで組織されています。

現在、全国では約1万4000校で約300万人以上のメンバーが、千葉県では、約260校で5万人近くのメンバーが活動しています。

日本赤十字社では、無償の教材や研修などを用意しており、何を実践するのかは学校の自由裁量です。

今後、学校関係者の皆様に、青少年赤十字の目的や意義を理解していただき、採用校の輪を広げます。



チームワークで課題をクリアするフィールドワーク

JRCの豊富な教材



高齢者擬似体験セット



点字盤

青少年赤十字国際交流派遣事業

モンゴル国赤十字ユースと国際交流

平成29年8月7日（月）～12日（土）の6日間、千葉県青少年赤十字の中学生・高校生メンバー8名がモンゴル国に派遣され、同国のユースメンバーと国際交流を行いました。

同国では、現地赤十字本社や支部を訪問したほか、ユースメンバー宅へのホームステイやゲル（遊牧民のテント）に宿泊するキャンプ体験を通して、現地の生活や伝統を知り、交流・親善を深めました。

メンバーたちは、お互いの国や自分たちの活動について慣れない英語でコミュニケーション。初めは緊張していましたが、ダンスやミニゲームなどを通してお互いに打ち解けあっていき、最終日には、メンバー同士が抱き合い、涙でお別れをしました。

●参加したメンバーたちの声

文化や治安の違い、
貧困問題、
実際に行かないと
分からない
人の温かさを
知りました。

学んできたことや
これから
何をすべきかを
他のメンバーに
しっかり伝えたい。

国を超えても
人の温かさは
変わらないのに、
世界では紛争が
おきるのは悲しい
ことだと思いました。



モンゴル国赤十字ユースが
空港に出迎え



千葉県ゆかりの萬祝染めの風呂敷を贈呈



ゲームを通して打ち解け合う



成田赤十字病院 「ふれあい広場2017」を開催

平成29年11月11日（土）、成田赤十字病院では、赤十字活動と赤十字病院の役割を知っていただき、地域の皆さまとの交流を深める機会として「ふれあい広場2017」を開催しました。

小学生を対象とした赤十字のお仕事体験のほか、災害時の炊き出しや義肢装具の体験などのコーナーを設けました。また、今回は、地元の小学生による合唱やボランティアによる演奏なども実施し、大勢の皆さまにご来場いただき大盛況のイベントとなりました。

救急法フェスタ2017を開催しました

平成29年10月5日(木)、千葉県総合スポーツセンター体育館(千葉市稲毛区)において「赤十字救急法フェスタ2017」が開催されました。

このイベントは、いざという時に活かせる救命・応急手当の知識と技能の向上を図るために、毎年実施しているものです。

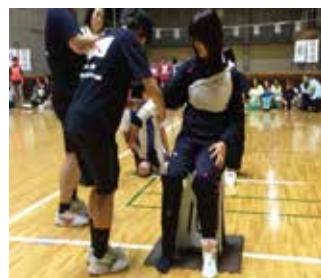
今回は、県内各地から地域奉仕団や防災ボランティア、青少年赤十字採用校の高校生など64団体約1,400名が参加。

コンテストは、1チーム5名で、三角巾を使って傷病者の全身を包帯する技術を91チームが競い合い、半数以上のチームが優秀な成績を取り、救急法技術のレベルアップが伺われました。

このほか、AEDの体験コーナーやレクリエーションなどが行われ、大盛況のうちに幕を閉じました。



チームが力を合わせて



高校生チームも大健闘



赤十字クイズで盛り上がり



ハートラちゃん記念撮影



皆で仲良しジャンジャンを踊る



AED体験

雄飛会様から

「災害救護用マルチルーム」を贈呈



雄飛会様から目録を贈呈



災害救護用マルチルーム

平成29年11月18日(土)、雄飛会様の総会(東京ベイ舞浜ホテル)において、「災害救護用マルチルーム」(約20セット 総額100万円相当)を日本赤十字社に贈呈いただきました。

このマルチルームは、避難所内の診察室として日赤救護班が診察や手当てを行うほか、乳幼児の授乳スペースや更衣スペースなどの汎用的な活用も期待できるものです。

雄飛会様、この度は誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。

～がんばれ赤十字! わが社は赤十字を応援します～

赤十字支援マークのご利用

「赤十字支援マーク」は、日本赤十字社の理念や活動に賛同し、資金や活動にご協力いただける企業・団体様にご利用いただけるマークです。

Webサイトやパンフレット、広告、商品などにご利用いただくことで、企業様の社会貢献を広くPRすることができます。

既にいくつかの県内企業様にご利用いただいております。「赤十字支援マーク」のご利用をぜひご検討ください。



伸和ピアノ(株)様のWebサイト

お問合せ先 千葉県支部 総務課 企画広報係
(043-241-7531)

献血女子会クッキング 「ホッとして!Good」 ～災害時の非常食を考える～



日本赤十字社千葉県支部と千葉ゆうきライオンズクラブは、体に良いレシピの調理実習と、災害時にも役立つハイゼックス(非常用炊出し袋)を使った料理教室を開催します。ご家族やご友人をお誘い合せのうえ、お申込みください。

- 1 日時 平成30年 1月27日(土)
午前10時30分～午後1時30分
- 2 場所 千葉県赤十字会館
千葉市中央区千葉港5-7
千葉都市モノレール「市役所前駅」徒歩3分
JR京葉線「千葉みなと駅」徒歩5分
- 3 内容 ハイゼックスを使った炊出し体験
管理栄養士による栄養トークと試食
- 4 参加費 お一人様500円(保険料込み)
- 5 募集人数 30人(20代～40代の女性限定)※先着順
- 6 持ち物 エプロンと頭巾
- 7 申込方法 ①氏名、②住所(グループ申込みの場合は全員)③電話番号、④FAX番号(FAXで申し込みの場合)を記入のうえ、往復葉書・FAX(043-248-6812)・メール(kouhou@chiba.jrc.or.jp)にてお申込みください。



～あなたの優しさを誰かのために～

「はたちの献血」キャンペーン

献血者が減少しがちな冬期に安全な血液製剤を安定的に患者さんにお届けするため、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心に、広く献血への理解と協力をお願いする「はたちの献血キャンペーン」を1月から2月にかけて実施します。

千葉県内の6か所の献血ルームや献血バスにおいて、ぜひ、献血にご協力ください。



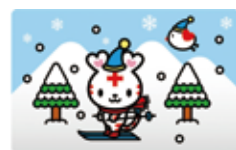
キャンペーンキャラクターは映画等で大活躍の広瀬すずさん

詳しい献血会場等は、千葉県赤十字血液センター推進課(047-457-0711)

または、千葉県赤十字血液センターのホームページ(<https://www.chiba.bc.jrc.or.jp/>)をご覧ください。

facebookはじめました!

千葉県支部公式ページを開設しました。
千葉の赤十字活動の情報を発信していきますので、皆様の「いいね!」をお待ちしています。



活動資金 協力企業 (団体)の ご紹介

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金に支えられています。
赤十字のサポーターとして、活動を支えていただく「大きな力」となっています。ご協力、誠にありがとうございました。

※ 平成29年度第2四半期に10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた法人(団体)のお名前をご紹介します。
なお、千葉県支部ホームページにおいてもご紹介しています。(敬称略・五十音順)

エム・ティー・エム興産株式会社 (市川市)
小澤土地家屋調査士事務所 (柏市)
有限会社笠川工業 (市原市)
株式会社京葉銀行 (千葉市中央区)
互譲共栄有限会社 (成田市)

伸和ピアノ株式会社 (千葉市花見川区)
千葉県ケーブルテレビ協議会 (佐倉市)
株式会社千葉総業 (市原市)
有限会社米信 (浦安市)